

ケーソン製作

- ケーソン工事は構造上、製作時に隔壁となる部分の鉄筋で仕切られています。
- 作業上、この鉄筋の壁を乗り越えてマス間を移動する作業が必要となります。

隔壁

マス



問題点

■ ケーソン隔壁の鉄筋を越えるには？

- ・ 直接、鉄筋壁を昇降する
- ・ 組上げた鉄筋に開口部を設け、移動する
- ・ 梯子を掛け、昇降する
- ・ 枠組足場等をつくる

- ・ 鉄筋の結束が外れる
- ・ 構造物の強度が低下する
- ・ 梯子の安定性が不十分
- ・ マス内のスペースがない

転落・落下・事故



KSタラップの利点

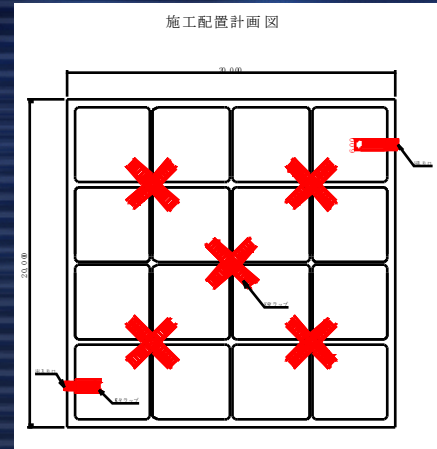
1. 隔壁の鉄筋(縦筋)を上から、またぐので 鉄筋に作業員・梯子の荷重がかからず、ズレを生じない。
2. 隔壁の交差部に設置することによって各マスへの移動が安全にできる。
3. 設置が4点支持なので、安定性があり、転倒の危険性が少ない。
4. 手すりをつけたタラップなので作業員の昇降にも安全・迅速に移動できる。



KSタラップの利点

5. 鉄筋の組立て時にも 障害にならず 作業がしやすい。
6. 足場をユニットとして移動しやすく(クレーン使用)、鉄筋組立ての際に障害にならない。
7. 組立て方式なので、場所を取らずに置け、運搬に支障がない。

以上の点から多くの現場に採用されている。



過去の実績



- 発注官庁並びに元請施工業者等の関係者から、「安全性が高く、作業性が向上した。」と 高い評価をいただいております。